

### 1. 戦略の策定趣旨

- 1 コロナ禍による様々な影響を踏まえ、**経済や府民生活へのダメージを最小限に抑えるために緊急的に取り組むべきもの**、さらには、**コロナ終息を見据え、大阪の再生・成長に向けて取り組むべき方向性を明らかにする、新たな戦略を大阪府・大阪市において策定。**
- 2 この戦略により、大阪の再生を確たるものとし、さらなる成長につなげるとともに、その取り組みの成果を、2025年の大阪・関西万博の成功、SDGsの達成へとつなげていく。
- 3 そして、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、府市一体のもと、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」を確立・発展させていく。

### 2. 新型コロナウイルスの感染拡大の影響と新たな潮流（主なもの）

経済や社会・暮らし、東京一極集中リスクの観点から、コロナがもたらした影響や新たな潮流を分析

	主な影響	新たな潮流
①経済 (産業・雇用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇実質成長率の大幅な低下予測</li> <li>◇インバウンド需要の消失、宿泊、飲食業等を中心とした国内消費の減少</li> <li>◇雇用環境の悪化 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ECの拡大など消費行動の変化</li> <li>◆テレワークなど働き方の変化</li> <li>◆ポストコロナを見据えた成長産業</li> <li>◆国際金融体制・市場の変化 など</li> </ul>
②社会・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇所得の低下</li> <li>◇社会的つながりの喪失や児童虐待、自殺者の増加等の懸念</li> <li>◇長期間の休校 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会全体のデジタル化の加速</li> <li>◆新しい生活スタイルや意識の変化</li> <li>◆健康意識の高まり</li> <li>◆国際的なグリーンリカバリーの議論 など</li> </ul>
③東京一極集中リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇東京一極集中のリスクが顕在化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京一極集中リスクの是正議論の活発化</li> <li>◆東京から人口流出</li> </ul>

### 4. 戦略の目標

大阪の再生・成長に向けて、目標となる指標を設定。目標年2025年（一部を除く）

- 実質成長率** → ・2022年度に府内総生産（実質）をコロナ前の水準に戻す。  
・それを踏まえ年平均2%以上
- 内外からの誘客** → ・日本人延べ宿泊者数 2022年にコロナ前の水準を上回る  
・来阪外国人旅行者数 入国規制解除から2年後(※)にコロナ前の水準を上回る ※具体的時期は改めて設定。
- スタートアップ創出数** → ・300社創出（うち大学発100社）（2024年）
- 雇用創出数** → ・2022年にコロナ前の水準に戻す。2022年以降、年平均2万人以上
- 府内への転入超過数** → ・生産年齢人口の転入超過数 年1万人以上

### 3. 取り組みの方向性

- ウィズコロナでは、感染防止対策を講じつつ、経済の落ち込み、府民生活への影響を最小限に抑える。
- 大阪の再生・成長を図るため、ポストコロナに向けて5つの重点分野を中心とした経済成長面からの取り組みに加え、くらし、安全・安心の取り組みを推進。

